



健康豆知識～糖尿病～

今回は1型糖尿病についてご紹介していきます。

1型糖尿病とはインスリンを出す細胞が壊れ、インスリンが出なくなってしまう病気です。小児に発症する事が多いと言われていますが成人にも発症することがある病気なのです。

1型糖尿病

原因

原因は正確には分かっておらず、生活習慣が原因で発症することが多い2型糖尿病とは違い、1型糖尿病は生活習慣病ではありません。発症した場合はインスリンによる治療が必要になってきます。

症状

- ・ 普段より喉が渇く
- ・ 頻尿
- ・ 急激な体重減少
- ・ 疲れがひどい... などなど

もし、糖尿病かもと思ったら内科や外科、泌尿器内科などで検査を受けることができます。さらに詳しく検査を受けたい方は糖尿病内科を受診してみるのも良いでしょう。



1型糖尿病の種類

劇症1型糖尿病

発症から1週間程度でインスリン依存状態（インスリンが不足し治療で補う必要がある状態）に陥ります。すぐにインスリンを外から補わなければ、糖尿病ケトアシドーシスという緊急合併症のリスクが高まります。

急性発症1型糖尿病

発症から数カ月かけてインスリン依存状態に陥る、もっともよくみられるタイプです。

暖徐（かんじょ）進行1型糖尿病

発症から半年か数年をかけてインスリンの分泌が低下していき、最終的にインスリン依存状態に陥るタイプです。2型糖尿病との鑑別が重要です。血液検査で自己抗体の有無を確認することで鑑別が可能です。

1型糖尿病は予防法がわかっておりませんが、糖尿病の患者数はほとんどが2型糖尿病であり、主に生活習慣が原因で起こります。食生活を改善したり適度な運動をすることで糖尿病になりにくい生活を送ることが大切です。

参考資料

内科・糖尿病内分泌内科岩崎内科クリニック

日本イーライリリー株式会社

発行元 医療法人社団和風会メディカルフィットネスセンタープラム